

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

私の記録から

春の日差しを受けて記録的だった積雪も残りわずかとなり、雪除けをしてある庭先では幸せを招くと言われる福寿草や、喜び、陽気の花ことばで知られるクロッカスが春を告げています。私は4月初旬に草花や野菜の種をポットに入れて室内で育て、5月に入り昼夜の温度が10℃以上になったら屋外のビニールトンネルの中に移して育成します、5月半ば過ぎに路地に定植しますが遅い霜もありますのでトンネルに保温シートを掛けて寒さ対策をします。4月初旬に草花や野菜の種からの育成状況ですが、苗専門に作って販売している地元の農家さんの苗と比べれば苗丈は3分の2程と小さめですが、路地に定植し6月半ばには購入した苗と比べても見劣りはしなく成長します。皆さんも種から愛情を込めて育ててみませんか。百日草（ジニア）や蝦夷菊（アスター）を毎年8月半ばから咲かし、9月後半まで楽しめます。草花や野菜を4月初旬に種を植えても初夏から秋まで楽しめます。大型量販店等は、全国規模のため本州で販売する同時期に同種の苗を北海道でも販売していますので、4月下旬から苗を販売しています。この時期に購入される方は温度管理に充分気を付けないと苗が枯れてしまいますので5月半ば過ぎの購入をお勧めします。（ながやす）

今月の便り



君子蘭

毎年春のバラ園色彩館では君子蘭の大きな鉢植えが見事な花をつけます。そのせいか来園者から君子蘭の育て方を聞かれることがよくあります。そのほとんどが葉は繁っているのに花がつかないという相談。君子蘭は耐寒性のない植物ですが夏場は直射日光の当たらない明るい戸外での生活を霜が降りるギリギリまで。その後室内に取り込んでからは10度以下の明るいところに。合計約2ヶ月5℃～10℃で過ごさせると花芽がつくようです。花芽が出たからといって暖かいところに早くから移すと茎が伸びきらないまま開花するので気をつけましょう。今年上手く咲かせられなかった人は諦めないで是非来年咲かせてください。北海道の場合耐寒性のない植物は冬の間室内管理をしなければなりません。歩けない植物を人間の都合で移動させることは植物にとってとてもストレス。春と秋の鉢移動には温度、光など急激に変化させないように気をつけてあげてください。（きのした）

キバナノアマナ

キバナノアマナは山野に生育する多年草で北海道・本州中部以北に分布し、千島・樺太・朝鮮・中国・シベリア東部・ヨーロッパに広く分布する植物です。地下に10～15mmほどの鱗茎（球根）から早春に葉と同時に花茎を出します。葉の幅は5～7cmの線形ですこし厚ぼったく、伸びるにつれくたくた倒れやすいです。つやがない粉白色の葉は同じユリ科のチューリップの葉に似たような色でしょうか。4月から5月にかけて、花茎の先端に数個～10個の花を咲かせます。花は、2～3センチと小ぶりですが開花直後は黄緑で、やがて黄色になります。北海道には他にヒメアマナとエゾヒメアマナがあり同じ黄色い花が咲きますがキバナノアマナより花、姿とも小ぶりでよわよわしいです。キバナノアマナは時にエゾエンゴサクと一緒に群生し、青紫と黄色のコントラストはなかなか良いものです。もちろんピンクのカタクリも大好きですが。（いとう）

待ち遠しい桜

春になると一番多くの人に待ち望まれているのは桜ですね。その桜は秋が近づくと夏にできた花芽の生長が止まり、休眠状態となります。その花芽は冬に一定の期間に低温にさらされると、厳寒の1～2月に眠りから覚め、組織を充実させる成長を再開します。これを休眠打破といいます。その条件は種類によっても異なりますが、およそ0～5度で2週間程度とされています。休眠打破とは、寒くなると起きる現象で、野山の動物たちが暖かくなると冬眠から目覚めるのとは違う現象なので注意してください。やがて春を迎え、それなりの気温と日照時間が与えられると開花します。このように冬の寒さと春の暖かさの両方がそろってこそ、程よい時期に満開の花見ができるのです。さて今年はどうなるでしょうか。

(かわはら)

春先の庭から

史上2番目の降雪量に見舞われた岩見沢市の冬は長く春が程待ちどうしかったですね。豪雪の中でしのいだ庭のバラは、雪の重量で枝が折れていませんか？北国は、春に本剪定の時期を迎えます。鉢バラも起こして、枝と鉢の土の様子、根の状態などを確認し、鉢バラの植え替えなども行います。作業は地植えのバラも鉢植えのバラも、系統に準じながら良いプクツとした芽の上で剪定するのが良いでしょう。地植えのバラは、植え場所により高さなども考慮しながら枝の剪定を始めましょう。株元には堆肥と芽出し肥料なども入れて行きます。グラグラしている株は、添え木などで株元がぐらつかないように固定してあげます。雪解けが進み、ガーデニングの始まりは、お庭の整理から始めて宿根草やバラのお手入れへと忙しい4月もステイホームでお庭時間を楽しんでください。(たかはし)

ヤーコンのパワー

ヤーコンは、中南米アンデス高地原産のキク科の根菜です。インカ帝国の昔から、果物のような野菜として親しまれていたそうです。ご存知のとおり、アンデス地方は世界でも有数の長寿国です。そんな現地の方が食しているのがこのヤーコン。このヤーコンの葉はお茶にして日本人が手軽にヤーコンの栄養素を摂取できる飲み方として、いま注目されています。ヤーコン茶の効能・効果には、【糖尿病】や【高血圧】といった日本でも非常に多い生活習慣病の予防の他、血液中の【中性脂肪】や【コレステロール】といった脂肪の数値を下げる働きもあることから、肥満防止によるダイエット効果も期待できると考えられています。また、ヤーコン茶の効能の中でも特に注目されているのが、血糖値を下げ、糖尿病の予防に貢献するといった要素です。これはヤーコンの葉や茎の部分に豊富に含まれている「ポリフェノール」の種類の中に、体内で糖質の吸収を遅らせる働きがあり、これにより食後の急激な血糖値の上昇を予防する効果があると言われているからです。また、体内で膵臓(すいぞう)から分泌され、血糖値を下げる作用をしている「インスリン」成分がヤーコンに含まれているとも考えられており、このインスリン成分が血糖値の上昇を抑制することに繋がっていると言われています。

以上のようなことから、ヤーコン茶が糖尿病対策に有効に作用すると考えられ注目を浴びています。このような効果の高いヤーコン茶をぜひ一度お試しください！

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第八十回

シュラブローズ

ボニカ' 82

Bonica' 82

作出国：フランス

作出者：Marie-Louise Meilland

作出年：1981年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き

交配：(Rosa sempervirens L. ×
Mademoiselle Marthe Carron) × Picasso

段々と暖かくなり雪も少なくなってきました。とは言っても今年の雪は多すぎてこれから雪割り頑張らなきゃ色々作業が遅れてしまいそうです。植物を扱っていると、その年の気候にかなり影響を受けてしまうのですが、どんな時でもたくさんの花を付けてくれる品種を紹介したいと思います。

ボニカ' 82 は小～中輪程度の丸弁平咲きのピンクの花で病気に強く、あまり手をかけなくても咲いてくれるので初心者の方にもおすすめのバラになります。樹高はあまり高くならなく、極端に横に張り出すわけでもないのととてもまとまりよく見せることができます。細枝からも花芽が伸びるので一番花の花つきはすさまじく、花切りが間に合わなくなるほどです。剪定する際は、あまり切り詰めないで焼き鳥串ぐらいの太さで切っていくとよいです。

受賞歴も素晴らしく、1987年にAARS受賞、2003年に世界バラ会連合で殿堂入りに選ばれました。また、現在はリストから外されてしまったものの1983年にADR賞も受賞していた歴史があります。現在のADRの基準に漏れてしまったとはいえ強健性は素晴らしく、夏ごろには黒点病で多少葉っぱを落としてしまうものの秋も十分見応えある場面をつくってくれます。

ハーディネスゾーンが4ということからも分かる通り耐病性だけではなく、耐寒性にも優れています。当園の冬囲いでは枝折れ防止の竹＋防風ネットで囲っており、毎年その方法で問題なく越冬できています。

交配を見ていくと、おじいちゃんおばあちゃんの代まで見てもハーディネスゾーンが5や6のものが多く、その血筋からここまでの耐寒性を得ることが出来るのかあ后感心してしまいますね。やはり育種って不思議です。奥が深い。

実はメイアン社にはボニカという名前のバラが2種類あり、先に赤いバラが作出され、当園にも咲いていて、一般的に周知されているピンクのボニカは後にできたものみたいです。作出者はピエールドゥロンサルやマリアカラス等を作成したMarie-Louise Meillandさん。父親同士の繋がりでもメイアン社のピースの作出で有名なFrancis Meillandと知り合い結婚。この二人だけ見てもすごい夫婦だなと思いますが、一族皆有名。さすが家族経営メイアン社。当園の入り口付近から整形形式ガーデンまで、ボニカ' 82 含めメイアンのバラも多く植栽されているので、メイアンの歴史を感じながら見てみるとまた違った見方で面白いかもしれません。



バラ園を一緒に育みませんか？

皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていききたいという想いを込めて、作業ボランティアを募集しています。『トムテ』とはボランティアの愛称で、そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、スウェーデンの妖精の名前です。

活動日

- ①金曜日（定例活動日）
- ②『ばらゼミ』開催日の午後から
- ③その他自由

参加には登録が必要です。詳しくはお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先 いわみざわ公園バラ園（室内公園 色彩館）

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 TEL 0126-25-6111

URL : <http://www.iwamizawa-park.com> Eメール : info@iwamizawa-park.com

今月の市民園芸講座のご案内



●4月18日（日） 13:00~15:00 ハンギング作りの基本

料金：1,500円～（容器代別途・およそ2,000円程度）

定員：18名 講師：高橋 かつえさん フラワーマスター

●4月24日（土） 10:00~12:00

ばらゼミ② 系統別の剪定方法。

料金：無料 定員：18名 講師：工藤 敏博さん ローズグロワー

●4月25日（日） 13:00~15:00 家庭菜園を楽しもう

料金：無料 定員：18名 講師：山黒 良寛さん 拓殖大学北海道短期大学

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話 : 0126-25-6111

ホームページ : <http://www.iwamizawa-park.com/>

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。